

# J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

## 2018 YEARBOOK



**NO.114**

[www.jsaf.or.jp/hp/](http://www.jsaf.or.jp/hp/)

45 R





JSAFは  
セーリングスポーツが  
次世代まで  
発展するように  
会員の皆さまのために  
加盟の団体とともに  
活動します。

### 【2019年度JSAF基本方針】

セーリングスポーツのより一層の普及・振興・発展のために、スポーツとしてセーリングを行うセーラーのセーリングスキルと人間力を向上させることで、スポーツ・インテグリティを向上させる。

東京2020に向け、今までセーリングに関わりのなかった人々に対しても、広くセーリングの魅力について普及・啓発し、安全で快適なスポーツおよびレジャーとしてセーリングを発展させるとともに、セーリングおよびJSAFを応援していただける個人・企業・団体を拡大する。

東京2020オリンピック・パラリンピックでのメダル獲得に向けた選手強化はもとより、次世代を担う選手、それに関係する指導者やスタッフの育成強化を図るとともに、東京2020オリンピックやパラワールド開催成功に向けて、テストイベントおよびワールドカップ・シリーズなどレースやイベント運営にかかわる人材の確保と育成を図る。

World Sailingの「持続可能性アジェンダ2030」に連動し、日本セーリング界の持続可能性活動を開始する。

### 【2019年度JSAF実行計画】

#### ① セーリングスポーツの普及、発展と安全確保

- ① JSAF 主催大会の確実なる成功
- ② 国際ルールの国内における維持および管理
- ③ レースオフィシャルズの養成による国内大会の質の維持・向上
- ④ 選手と共に成長し続ける指導者の育成
- ⑤ アンチ・ドーピング (AD) 活動の推進
- ⑥ スポーツ・インテグリティの向上
- ⑦ セーフティセーリングの推進
- ⑧ 外洋レース、大型艇レースの活性化
- ⑨ 障がい者セーリングの普及・推進
- ⑩ セーリングファンの開拓

#### ② 東京2020に向けた選手の更なる国際競争力の強化

- ① ナショナルチーム (選手・コーチ・スタッフ) の強化

- ② ジュニア・ユースセーラーへの幅広い活動支援
- ③ オリンピックテストイベント、ワールドカップシリーズ、各種国際大会の成功

#### ③ メンバーや加盟の団体サポートのための組織強化と人材育成

- ① 公益財団法人としてのガバナンスの強化、社会規範やコンプライアンスの順守
- ② 加盟団体 / 特別加盟団体と一体になったビジョン / 中長期計画の策定
- ③ 情報システムのセキュリティ対策
- ④ 会員管理システムのサービス向上
- ⑤ セーリングスポーツを支える委員会活動の活発化
- ⑥ セーリングスポーツを支えるサポート企業・団体・会員の開拓
- ⑦ セーリングスポーツに関わる国際人の養成



**YANMAR**

# A SUSTAINABLE FUTURE

—— テクノロジーで、新しい豊かさへ。 ——

人が、いつまでも豊かに暮らせること。

自然が、いつまでも豊かでありつづけること。

その2つの「サステナビリティ」をどこまでも追求し、高い次元で両立。

次の100年へ、新しい豊かさの実現に貢献していきます。

**36<sup>TH</sup> AMERICA'S CUP**  
PRESENTED BY  
**PRADA**

ヤンマーは第36回アメリカズカップの  
オフィシャルマリナーパートナーです。

[yanmar.com](http://yanmar.com)



# 翼は、夢を見る。

勝利を夢見て、ひたすら努力するアスリートたち。  
彼らの頑張りや、汗が、涙がスポーツの魅力となって輝く。  
勝敗をこえた感動を、私たちに与えてくれる。

彼らのさらなる飛躍を願い、

JALはスポーツの夢を応援します。

日本航空は、東京2020  
オリンピック・パラリンピックの  
オフィシャルエアライン  
パートナーです。



TOKYO 2020  
OLYMPIC GAMES



JAPAN AIRLINES



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルエアラインパートナー

参加者集合！ハンザワールドを満喫しました (photo by Hozumi Tanaka)



ハンザ 303 級シングルでは丹羽選手が 3 位に (photo by Hozumi Tanaka)



リパティ級サーボクラスの表彰式。3 位は青野選手 (photo by Hozumi Tanaka)



ハンザ 303 級ダブルで優勝した中山／柴田組 (photo by Hozumi Tanaka)

## ハンザクラスワールド&インターナショナルチャンピオンシップス

# 誰もがセーリングを楽しめる国際大会

2018年10月12～18日、日本初、アジアでも初開催となる

「ハンザクラスワールド&インターナショナルチャンピオンシップス」

(広島市・広島観音マリーナ) が開催されました。

この大会には世界 24 カ国から 185 人の選手にそのサポーター、

さらにボランティアを含む約 400 人の運営人員が参加し、1 週間にわたる大会に臨みました。



24 カ国から 185 選手が集まった (photo by Adamo Aono)

### ■最終成績

#### ハンザ 2.3 級シングル

- 1 位: クリス・ルストン (オーストラリア)
- 2 位: リンジー・バーンズ (イギリス)
- 3 位: ニール・ロスソーン (オーストラリア)

#### ハンザ 303 級シングル

- 1 位: ビュートル・チホスキー (ポーランド)
- 2 位: クリストファー・シモンズ (オーストラリア)
- 3 位: 丹羽巧 (東京都ヨット連盟)

#### ハンザ 303 級ダブル

- 1 位: 中山由菜 / 柴田紗理菜 (チーム重)
- 2 位: マイケル・ダービー / クリストファー・シモンズ (オーストラリア)
- 3 位: パトリック・マウロー / クリスチャン・ヒーレオー (スイス)

#### リパティ級

- 1 位: ボブ・シャヒンガー (オーストラリア)
- 2 位: ジェラルド・エッセン (フランス)
- 3 位: ヴェラ・ポーバッハ (オランダ)

#### リパティ級サーボ

- 1 位: ヴィラ・ポーバッハ (オランダ)
- 2 位: ハネケ・デーネン (オランダ)
- 3 位: 青野鷹哉 (セイラビリティ広島あびの会)

**日本の 3 選手が表彰台に上る**  
レースはハンザ 2・3 級シングル、ハンザ 303 級ダブル、リパティ級の四つのカテゴリに分かれています。リパティ級には重い障害のある選手用に電動サポーター機能が装備されたサーボ艇もあります。そのサーボ艇に乗るヴェラ・ポーバッハ選手(オ

ランダ) がリパティ級総合で 3 位になるなど、誰もがセーリングを楽しめるハンザ級らしき満点の大会となりました。  
この大会では、3 組の日本人選手が表彰台に上る活躍を見せました。高校 3 年生の中山由菜選手と小学 5 年生の柴田紗理菜選手(チーム重・佐賀)は、ハンザ 303 級ダブルで優勝の快挙を成し遂げています。  
また、右足の膝から下が義足の丹羽巧選手(東京都ヨット連盟)は、日本代表として出場したパラワールドの雪辱を誓いこの大会に出場、銅メダルを獲得しました。  
ヨット部に入ったばかりの大学 1 年生の時に頸椎を損傷する事故に遭った青野鷹哉選手(セイラビリティ広島あびの会)は、日本人として初めてリパティ級サーボに乗り銅メダルを手に入れました。  
レースは広島観音マリーナの目の前の海域で行われ、防波堤には観覧席も設けられました。大会期間中、のべ 2000 人を超える人たちが訪れ、カラフルなセールが特徴のハンザ級のレースを観戦していたのが印象的でした。(レポート/西朝子)

**ユニバーサルデザインのセーリングデザイン**  
ハンザクラスとは、誰もがセーリングを楽しめるようにとオーストラリア人のクリス・ミッチェル氏が 1990 年代に考案したユニバーサルデザインのセーリングデザインで、子どもから高齢者、そして障がい者まで難しい練習なしに乗ることができます。

重量のあるセンターボード搭載で安定性が非常に高く、コクピット内に設置されたハンモック状のシートに深く腰掛けることで海への転落リスクを大幅に減らしています。舵はジョイスティックで操作し、電動サポーターを利用すれば重度の障がい者でも操船が可能です。またセーラーが 2 人、シートに並んで座することもできるため、健常者のサポーターが受けやすいのも特徴の一つです。  
今大会では参加選手の約 8 割が何らかの障害のある選手でしたが、付き添いのサポーターや広島市内にある医療系専門学校の生徒などのボランティアが多数参加してサポーター態勢を整えたことで、無事に大会を終えることができました。

この大会では、3 組の日本人選手が表彰台に上る活躍を見せました。高校 3 年生の中山由菜選手と小学 5 年生の柴田紗理菜選手(チーム重・佐賀)は、ハンザ 303 級ダブルで優勝の快挙を成し遂げています。  
また、右足の膝から下が義足の丹羽巧選手(東京都ヨット連盟)は、日本代表として出場したパラワールドの雪辱を誓いこの大会に出場、銅メダルを獲得しました。  
ヨット部に入ったばかりの大学 1 年生の時に頸椎を損傷する事故に遭った青野鷹哉選手(セイラビリティ広島あびの会)は、日本人として初めてリパティ級サーボに乗り銅メダルを手に入れました。  
レースは広島観音マリーナの目の前の海域で行われ、防波堤には観覧席も設けられました。大会期間中、のべ 2000 人を超える人たちが訪れ、カラフルなセールが特徴のハンザ級のレースを観戦していたのが印象的でした。(レポート/西朝子)



GO BEYOND™

## 2018 Winning Results

### 2018 470 JAPAN CHAMPIONSHIPS

Mens-Gold, Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10  
Womens-Gold, Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

### 2018 420 WORLD CHAMPIONSHIPS

Open-Gold, Silver, Bronze  
Womens-Gold, Silver  
U17-Gold, Silver

### 2018 Sailing World Championship - 470

Mens-Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 8, 10  
Womens-Gold, Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 9, 10

### 2018 Kiel Week

Mens-Gold, Silver, 5, 6, 7, 8, 9, 10  
Womens-Gold, Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

### 2018 European Championship

Mens-Gold, Silver, 4, 5, 6, 8  
Womens-Gold, Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

### 2018 World Cup Series – Hyeres

Mens-Gold, Silver, Bronze, 4, 6, 7, 8  
Womens-Gold, Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 9, 10

### 2018 Princess Sophia

Mens-Gold, Bronze, 4, 6, 8, 9, 10  
Womens-Gold, Silver, Bronze, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

### 2017 470 Worlds

Mens-Gold, Silver, Bronze, 7, 8, 9, 10  
Womens-Gold, Silver, Bronze, 5, 6, 7, 8, 9, 10

## THE SAILMAKER OF CHOICE...

# 信頼の証し

新しいデザインを追求し、絶え間ない挑戦を続けるノースセール。

より速くトリムしやすいセールのデザインを、最先端のCFD (数値流体力学) / FEM (有限要素法) シミュレーションプログラム、解析プログラムを活用して開発しています。

これらのデザインプログラムも進化を続け、精度の高い究極のシミュレーションプログラムを目指し、改良されています。

さらに、海上での2ポートテストにより、セールのパフォーマンスの向上、セールシェープの再現性を確認。セーラーに完璧なセールをお届けするために、全力を尽くしています。

次に手にする最新のデザインのセールが、これまでのセールの性能を上回り、さらにセーリングパフォーマンスを高めます。

ノースセールをチョイスすることがレースに向けた最良の準備となるでしょう。

本社・横浜ロフト 045-770-5666

関西ロフト 0798-26-7771

北海道ロフト 0134-25-3227



# 2年後、再びこのレースに参加する予定です

2018年の沖縄～東海ヨットレース（沖縄県宜野湾港マリーナ沖～愛知県ラグナマリーナ沖、およそ720マイル）に参加した〈1122TREKKEE〉オーナーの新田肇さんに参戦記を寄稿していただいた。同艇はこれまで行われた本レースのすべてに参加している。



総合優勝 (JOKER)

ラインオーナー (LADY KANON 6)

すべての沖縄～東海レースに参加している (1122TREKKEE)

- 成績
- 1位 JOKER
  - 2位 1122TREKKEE
  - 3位 BITTER END
  - 4位 SEKITO
  - 5位 LADY KANON 6
  - 6位 MONDAY NIGHT



## レースの醍醐味

〈1122TREKKEE〉チームはアマチュアチームとして毎回、沖縄～東海ヨットレースに参加させていただいています。2018年の沖縄～東海ヨットレースは4月29日にスタートしました。

このレースは沖縄本島西側の宜野湾港マリーナをスタートし、伊是名島を通り、沖永良部島をさらに北上し、奄美大島あたりで喜界島の西側（奄美大島との間）または東側を航行するからその後のレース展開が変わってきます。

私たちのチームは過去のレースで奄美大島の西側、喜界島との間、喜界島の東側を通りましたが、結果はその都度に大きく変わりました。外洋ヨットレースに限らずヨットレースではどのコースを選択するか

に際して風や潮、気象の変化を解析することは当然ですが、メンタル面も大きく左右するあたりが醍醐味です。

## ホスピタリティーのありがたさ

外洋レースに参加するには乗員は休暇を取らなければならず、かなりの努力を要します。一方、レースを運営する側も準備段階を含めると多大な努力が必要になります。プレーヤーはスタートからフィニッシュまでがレース期間ですが、運営側はレースの企画・立案・許可申請・募集・海上運営・レース中の安全管理・フィニッシュ後のホスピタリティー等々、多岐にわたってレース中の状態が続くのです。

我々も時折運営に携わらせていただくよう心がけていますが、実際の運営はかなり専門的な知識と経験を要します。時としてプレーヤーの方

が気持ち良かったと感じることも正直な感想です。

沖縄～東海ヨットレースに限っても、スタートとフィニッシュは700マイル以上も離れており、レース期間中は双方のレース本部を維持せねばならず、またフィニッシュは最初の艇と最後の艇では何十時間も差が出てしまうため、絶えずレース海域の安全の確保に努めねばなりません。その実務は「大変」という一言で表現できないほどです。

当然、スタート、フィニッシュ双方のヨットクラブの協力も必要です。たとえば、本レースのフィニッシュ側ホストであるラグナマリーナヨットクラブには、レース艇がいくつかのフィニッシュしても温かいシャワーとビールや食事を提供していただいています。フィニッシュ後の温かいシャワーは何ものにも代えがたく、心のこもった食事はレースの緊張を一気に和ませてくれます。外洋レースの醍醐味の一つがフィニッシュ側のホストマリーナのホスピタリティーなのです。

レース中は「なんでこんなコトしているのだろうか」と自問自答しながら時を過ごすこともあり、心のこもったおもてなしを受けるとそれまでの思いが一気に吹き飛び、また次のレースに参加することを考えてしまいます。

## ヨットレースを成り立たせる思い

ヨットレースは個人競技ではなく団体競技です。参加者、運営者、それをさまざまな形で支えてくださる方々の究極の団体競技であると考えています。

「板子一枚下は地獄」という言葉が

あるように、ヨットレースは絶えず生命を危険にさらすほどのリスクと隣り合わせです。他船舶との接触・浅海域への座礁などは単に参加ヨットの損害のみならず乗員への身の危険も及ぼしかねません。さらにデイスラストや乗員のケガや突然の発病等々、想定される危険を数え上げると限りがありません。

それほどに危険であることを事前に想定してレースに参加しているヨットは少ないとは思いますが、決して忘れてはいけないことであると感じています。

幸いなことにわが艇はこれまで急病搬送などはありませんでした。船にはAEDを搭載しており、定期的な救急安全講習会を受講しています。また、レース期間中、万が一のことが生じてしまった場合の緊急連絡網はレースごとに作成をしています。

私たちはイーパブ装置などを搭載しているため、遭難信号が発信されると事前に登録した私の家族に緊急の連絡が入ります。連絡を受けた家族はクルーの家族やレース本部にその事実を伝えることとなります。万々が一のことですがまったく可能性がないわけではありません。

ヨットレースに参加する者、ヨットレースをつくり上げる者、そしてヨットレースに携わる全員がこのレースに対して同じ思いがあつて初めてヨットレースが成り立つのだ、ということが本レースに参加していると感じるのです。

2020年4月には再びこのレースに参加する予定ですが、新たな記憶を刻めるように練習を日々重ねたいと思っています。(レポート/新田肇・〈1122TREKKEE〉オーナー、photos by Kazu)



©Junichi Hirai

# 風に乗れ! 波に乗れ! ニッポン



©Kazushige Nakajima

©Kazushige Nakajima

セーリング日本代表「日の丸セーラーズ」を応援しています。



公益財団法人 日本セーリング連盟

[www.jsaf.or.jp/hinomaru\\_s/](http://www.jsaf.or.jp/hinomaru_s/)



2019レーザー級世界選手権大会 鳥取・境港

●スタンダードクラス男子  
7/2(火) -9(火)

●ラジアルクラス女子/ラジアルクラス男子  
7/17(水) -24(水)

470級世界選手権大会2019 江の島

8/2(金) -9(金)

セーリング  
ワールドカップシリーズ  
江の島大会2019 江の島

8/25(日) -9/1(日)

ASAFセーリングカップ/  
JSAF江の島オリンピックウィーク2019 江の島

10/11(金) -14(月)



470 級  
男子

外菌潤平  
(九州旅客鉄道株式会社)



470 級  
男子

岡田奎樹  
(トヨタ自動車東日本株式会社)



470 級  
男子

高柳彬  
(株式会社エス・ビー・ネットワーク)



470 級  
男子

磯崎哲也  
(株式会社エス・ビー・ネットワーク)



49er

小泉維吹  
(早稲田大学)



49er

高橋稜 (レオ)  
(The University of Auckland)



470 級  
女子

吉岡美帆  
(株式会社ベネッセホールディングス)



470 級  
女子

吉田愛  
(株式会社ベネッセホールディングス)



49er  
FX

板倉広佳  
(株式会社豊田自動織機)



49er  
FX

波多江慶  
(株式会社豊田自動織機)

東京2020に向けて、  
2019年度 JSAF ナショナルチーム

# 決定！

いよいよ来年に迫った東京オリンピック。  
2019年度のナショナルチームの陣容をご紹介します。  
(photos by Sachie Hamaya)



フィン

國米創  
(株式会社 Eyevan)



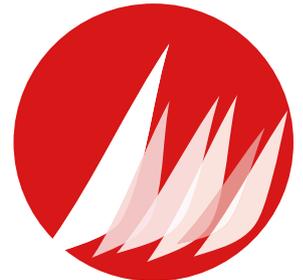
レーザー  
ラジアル

土居愛実  
(アビームコンサルティング株式会社)



レーザー

瀬川和正  
(米子産業体育館)



日の丸セーラーズ  
SAILING Team JAPAN



ナクラ17

畑山絵里  
(株式会社エス・ビー・ネットワーク)



ナクラ17

飯束潮吹  
(株式会社エス・ビー・ネットワーク)



RS:X  
女子

小嶺恵美  
(愛媛県競技力向上対策本部・ウェイウィルコーポレーション)



RS:X  
男子

富澤慎  
(トヨタ自動車東日本株式会社)



世界選手権で初の優勝を果たした470女子の吉田愛・吉岡美帆組と470男子2位の磯崎哲也・高柳彬組 (photo by Sailing Energy/World Sailing)

# 2019年 代表選考レースが いよいよ始まる

## 念願の ワールドチャンピオン誕生

2018年8月に行われたオーフス世界選手権は、オリンピッククラス全10種目がデンマーク・オーフスに集まる、4年に1度のワールドセーリング主催の世界選手権大会です。84カ国、922艇、1247選手が参加し、東京オリンピックの国別出場枠がかかった最初の大会であり、各国とも力の入るものでした。日本からは全種目に44艇、66人の選手が参加し、コーチ・スタッフを加えると総勢100人を超える過去最大規模での参加となりました。この大会には24年から五輪種目となるカイトボードも含まれ、日本からも男女1人ずつが出場しています。

オーフスのハイライトは470男女でした。男子の磯崎・高柳組が銀メダル、女子の吉田・吉岡組が念願のワールドチャンピオンの座に輝きました。また、470男子はメダルレースに3艇が残り、強さが本物になってきました。

## 4種目で金メダル

アジア競技大会の代表選手はオーフスから日本へ帰国し、数日のうちにインドネシア・ジャカルタへ移動し、各国1艇で競うレースに臨みました。

4年前の韓国大会ではワールドセーリング世界選手権から1日もあけずに直行し、金メダルゼロという厳しい結果となっていたため、その反省をもとに、今回は準備を周到に取り組みました。

まず、6月のアジア選手権（プレ大会）に向けて競技艇をコンテナで輸送し、このレースを通じて現地の

情報を得て、本番のアジア競技大会を想定した戦いを行いました。

その結果、アジア選手権で体調を崩した経験をいかし、また暑熱対策もうまくいき、短い準備期間でやるべきことに集中でき、オーフスでの活躍に続くかのように470男女で金メダルを獲得しました。

また、4年前の大会でドンシャン選手（中国）との一騎打ちとなったレーザージャバル女子の土居愛実選手は、その戦いを再現するかのような戦いを演じ、毎レースの1点を確実に積み上げ、最終レースを待たずに金メダルを確定させ優勝を果たしました。

49er男子はアジア諸国が急激に力をつけてきた種目です。アジア選手権で3位に終わった古谷・八山組はアジア競技大会で金を取ることにだけ集中し、抗議でつぶし合う他国に絡まずに大会を乗り切り、最終レースを待たずに金メダルを獲得しました。4種目での金メダルは近年で最多、厳しい条件の中で選手がよく戦ってくれました。

## 若いチームが急成長

アジア競技大会の直後、セーリングワールドカップシリーズ第1戦が江の島で開催されました。東京五輪を目指す44カ国、334艇、464選手が集まり、日本からは44艇、65人が参加しました。

この大会ではレース運営側もオリンピック本番を想定しての準備が始まり、江の島が外国のハーバーではないかと見間違えるくらいのにぎやかでした。

アジア競技大会を終えたチームは3大会連続となり、さすがに疲れが見えていましたが、江の島で練習し



アジア競技大会金メダルのレーザーラジアル級 土居愛実選手 (photo by Junichi Hirai)



アジア競技大会金メダルの470級女子の吉田愛・吉岡美帆組 (photo by Junichi Hirai)



アジア競技大会金メダルの49er級の古谷信玄・八山慎司組 (photo by Junichi Hirai)



アジア競技大会金メダルの470級男子の磯崎哲也(右)・高柳彬組 (photo by Junichi Hirai)



ワールドカップシリーズ江の島大会で優勝した470男子の岡田奎樹・外園潤平組 (photo by Sailing Energy / World Sailing)

## 「オリ強」の2018年の活動

2018年はオーフス世界選手権とアジア競技大会という二つの大きなレースを抱えた年でした。しかもこの2大会が連続して開催されたため、選手には厳しい状況となりましたが、結果を出しました。

ていたチームが万全の態勢で大活躍し、470男子は岡田・外園組がワールドカップ初優勝、高山・今村組も3位で表彰台に上がりました。また吉田・吉岡組も女子で2位と踏ん張りを見せました。470男女の他にも49er男子で高橋・小泉組がメダルのレースに残り、若いチームの急成長に驚かされました。

江の島の防波堤からメインセーラーに日の丸をつけた競技艇が出ていくのを見て、「日本がんばれ！」と声援してくれる観客の声飛びます。東京オリンピックでの雰囲気想像することができました。

**多岐にわたる練習活動**

江の島でのシーズンが終わると、470男女とRS:X男女は沖縄合宿が始まり、座間味や宜野湾でのトレーニングキャンプを行いました。

3年目になる座間味合宿は「ザ・合宿」と呼べるほどにフィジカル、セーリング、ルールを含む座学、と選手を追い込む合宿です。18年11月の合宿にはスペインとフランスからも参加があり、19年1月のワールドカップシリーズ第2戦マイアミ大会で優勝したスペインチームが「ザ・ザマミ、サイコー！」と叫び、また同大会で市野・長谷川組が3位になるなど、座間味での成果を見せました。沖縄合宿以外にも活動は多岐にわたりました。

ラジアル女子はアーサーコーチのいるオーストラリア・パースを拠点にし、レーザー男子はマルタ島での合同合宿やクロアチアでの練習。ワールドがあるオークランドでの合同合宿が企画されているRS:X男女や、ポルトガルのヴィラモラでのスキフとマルチハルの練習やレース、フィンにはオーストラリアで合同練習に参加と、全クラスが冬場もレベルの高い練習を求めて海外へ出ていました。

ユースワールドのラジアル男子8位と活躍した鈴木義弘選手はレーザースタンダードへ上がり、全日本で優勝しただけでなく、オーストラリア選手権で「あいつは誰だ？」とオージー達が目にとめる衝撃のシニアデビューを飾りました。今後、レーザーの代表選考で台風の目になりそうな新勢力です。

厳しい18年を無事に乗り切り、目標としていたメダルを獲得することができました。19年は代表選考レースが始まり、早いクラスは7月には東京オリンピック代表が決まります。

(レポート／齋藤愛子・JSAFオリピック強化委員会)



天皇杯(男女総合優勝)を  
獲得した山口県  
(photo by JSAF)

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」セーリング競技会

## 天皇杯は山口県、皇后杯は福井県が獲得

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」セーリング競技会は  
福井県高浜町の「若狭和田マリナー特設セーリング会場」で開催され、

天皇杯(男女総合優勝)は2年ぶり10回目の山口県が、皇后杯(女子総合優勝)は開催県の福井県が初めて獲得した。

### 台風襲来

今大会は猛烈な台風24号が競技会初日の9月30日に福井県に接近する予想だったため、計測前日の9月27日の時点で大幅な日程変更を決定し、急遽27日から計測を開始することとした。28日は引き続き計測と29日に予定されていた監督会議を繰り上げて開催した。29日は予定していたトライアルレースと開始式を中止したうえで、朝から台風対策のため運営艇の移動やテントの撤去などを行い、30日は全レースを2日目以降に延期し台風に対応した。

### 3日間で41レースを実施

大きな被害もなく台風が通過した



台風一過、絶好のコンディションでのA海面のレース (photo by author)

後の大会2日目の10月1日は実行委員会、競技役員、監督、選手が一体となって早朝からレースの実施に向けた準備を行った。レースを実施するに当たって、レース委員会は遅れた日程を取り戻すために同一艇種の男女を同時にスタートさせる案を示したが、ブリーフィングにおいてレース委員会と監督・選手が話し合いを行った結果、選手からの希望が多かった当初どおりの男女別のスタートで行うことになり、午後から16レースを実施した。

大会3日目の2日は朝から風に恵まれ順調に25レースを実施することができ、この日でレースが終了する男子種目と国体WS級の6種目は4または5レースが成立した。

大会最終日の10月3日は朝からの微風の中で出艇し海上で風待ちをしたが、安定した風が吹かなかったためレースは中止された。

今国体は台風の影響で大幅な日程変更を余儀なくされたが、早め早めに判断し大会関係者に周知するとともに万全な対策を行った大会実行委員会をはじめ、大会関係者が一体となって少しでも多くのレースの実施を目指した結果、3日間で41レースを実施することができた。

### 運営艇の衝突事故が発生

一方、非常に残念であるが、国体期間中に運営艇(プレジャーボート)に報道艇(漁船)が衝突し、競技役員が負傷し、運営艇が沈没するという国体で前例のない重大な事故が発生した。この衝突事故に関して

は、日本スポーツ協会の聞き取り調査に加えて、海上保安庁、国土交通省中部運輸局、運輸安全委員会の調査が行われたが、今後、運営艇の安全運航に関して万全な体制を再確認する必要がある。なお、今国体では報道艇に漁船を使用していたが、漁船を運営艇として使用する場合には目的外使用になることがあるため、今後は国体だけでなく各種大会における漁船の使用には注意が必要になると考えている。

### 「見える」、「見せる」に積極的に取り組む

今国体では大会ホームページによるリアルタイムな情報提供のほか、観覧席の設置、観覧艇の運航、レース風景の大型ビジョンでの放映、トラックキングシステムなどセーリング関係者だけでなく会場に登場した観客にも「見える」、「見せる」ことに積極的に取り組んでいた。

さらに、今国体でも地元ボランティア団体による郷土料理のおもてなしがあり、また多くの町民の観戦があるなど心温まる素晴らしい大会だった。長期にわたり大会の準備にご尽力いただきました高浜町実行委員会および福井県セーリング連盟、大会運営にご協力いただきました海上自衛隊舞鶴警備隊、若狭高浜漁業協同組合、若狭和田漁家組合、若狭和田マリナーオーナー会、地元ボランティア団体など関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。

(レポート/黒川重男・JSAF国体委員会副委員長)

2020年  
東京オリンピック  
応援フラッグリレー

# 協力艇 募集!

① 2018年に沖縄をスタートしたフラッグ1 ② 沖縄～蒲郡～南伊勢町を経て江の島に着いたフラッグ1 ③ フラッグ2は九州一周を続けています。〈海津〉艇上で子どもたちと ④ 新潟～富山～石川へ引き継がれたフラッグ3



2017年5月2日正午、晴天の中、新生「小笠原ヨットレース」がスタートしました。それはまさに「2020年東京オリンピック応援フラッグリレー」の始まりでもあったのです。



### 2018 レース結果

- Maxi72 世界選手権 - 1
- 52 SUPER SERIES - 1,2
- RC44 世界選手権 - 1
- Farr 40 OD 世界選手権 - 1,2
- Melges32 世界選手権 - 1
- Melges24 ヨーロッパ選手権 - 1
- Melges20 WINTER SERIES,E2 - 1
- J/70 WINTER SERIES,E1 - 1
- J/24 世界選手権 - 2

他多数

クァンタムは挑戦を続ける、  
ワンデザインクラスでの勝率の高さ、  
TP52シリーズに代表される開発力、  
その評価はアメリカスカップへと繋がる。

クァンタム・ジャパン  
www.wattsmarine.jp

新規セール、セール修理、ロープ&艀装品、  
マストを含むリグメンテナンス等。  
お気軽にご相談下さい。

(株) セイルズ・パイ・ワッツ・ジャパン  
本社ロフト  
〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町8-40  
電話：046-882-5451 Fax：046-882-4319  
関西営業所  
〒662-0933 兵庫県西宮市西波止町1-2  
マリンスクエア M-1  
電話 & Fax：0798-23-6410

### 「東京2020参画プログラム」の第1号

JSAF外洋艇推進グループは、2016年のリオデジャネイロ・オリンピック終了後、国民の注目が2020東京オリンピックへ向かう中、オリンピックを目指すデザイン・セーラーを応援するとともに、全国に向けてセーリングをアピールできる活動はないかと考えていました。

そこで、2004年アテネ・オリンピックの際には応援フラッグを作り、多くのヨットマンがバトンタッチ方式で日本の海岸線を一周したことになる、母国開催のオリンピックに是非この方式でアピールしようと思いついたのが2017年1月下旬のことでした。

企画を練り、実施に向けて下準備をする中で、この活動は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の「東京2020参画プログラム」の第1号として認可されることとなり、活動にいつそうの推進力が加わりました。

### 4枚のフラッグでリレー

小笠原ヨットレースのスタート前日に開催された前夜祭には地元の前夜祭には地元の人々が集い、多くのレース参加者が寄せ書き用のフラッグにサインをし、オリンピックへの思いを込めました。

翌日のスタートでは、レース艇の1艇が「2020年東京オリンピックを成功させよう！」のフラッグを掲げて岸壁からスタート海面までパレードし、そのフラッグを搭載してフィニッシュ地点の三崎港へ向けてスタートしました。

レース終了後、三崎港では盛大にフラッグの引き継ぎ式が行われました。そして、後日三崎港を出発したレース艇や各地の大型ヨットによってフラッグは引き継がれ、大洗、いわき、仙台、青森、函館、室蘭とリレーされ、その後函館まで戻り2017年のリレーは終了しました。

2018年は新たに2枚のフラッグを作成し（全部で4枚となる）、まずは沖縄～東海ヨットレース（4月29日スタート）で「フラッグリレー2018」の幕が切って落とされま

した。前夜祭では宜野湾市長はじめ多くの人々がフラッグに寄せ書きをしました（フラッグ1）。

そして翌日、参加艇にフラッグを掲げてパレードをした後、宜野湾市沖をスタートしていきました。レース艇に搭載されたフラッグは三河湾の蒲郡市まで運ばれ、その後パールレースのスタート地である三重県南伊勢町から、パールレース参加艇によって江の島まで運ばれました。

「フラッグ2」は種子島カブツヨットレース（4月29日スタート）の西之表市を皮切りに、九州一周、沖縄・鹿児島に帰った「フラッグ2」は、一度鹿児島に戻った「フラッグ2」は、鹿児島～石垣島～基隆（台湾）～宮古島～久米島～宜野湾～奄美大島～鹿児島島の順に運ばれ、ここから九州一周の旅に出て各地で盛大な歓迎を受けながら、右回りで現在宮崎まで到達しています。

一方、「フラッグ3」は函館から陸路秋田に運ばれた後、酒田、新潟を経由して富山湾に入り、能登半島を回って現在若狭和田まで到達しています。「フラッグ4」は琵琶湖でお披露

目された後、陸路で敦賀まで運ばれました。2019年2月現在はここまでですが、2019年も春の訪れとともに再開され、翌年はいよいよオリンピック開催年を迎えることとなります。

### 協力艇、募集!

今後の予定は確定していませんが、最終的には全国を回った4枚のフラッグをなるべく多くのヨットでオリンピック開会前に江の島に運び、完了式を敢行したいと考えています。完了式はオリンピック関連レースや行事等を組織委員会と調整した上で、ぜひ実現させたいと願っています。

最後に、これまでご協力いただいた関係者の方々に改めて感謝申し上げますとともに、これからオリンピック開会までの間、残る未走破部分にご協力いただける方はぜひともJSAF事務局までご一報下さるようお願い申し上げます。

(レポート/坂谷定生) JSAF常務理事、写真協力/フラッグリレー寄港地のみなさま)

# セーリングは 総合人間力を発揮する スポーツです

ジュニア・ユースアカデミー委員会が発足して  
10年目を迎えました。

発足当初はジュニアアカデミー委員会という名称で、  
OP級を中心としたジュニア層の活動を  
サポートする役割を担っていました。



青森市合浦での山本悟コーチ

現在ではコーチの対象をユース層にまで広げ、「ジュニア・ユースアカデミー委員会」として活動するようになりました。大きなバイと競争力を持つジュニア層のセーラーたちを長く見守っていききたい、セーリングを続けてほしいとの思いからです。

## 変遷

「ジュニアセーリング・シーマンシップアカデミー」です。ご存じのとおり歴代のオリンピックやナショナルチーム選手（NT）をコーチ役として全国のジュニアセーラーの元に派遣してきました。恥ずかしながら当時の私はこの事業の舵取り役（委員長）であるにもかかわらず、シーマンシップの意味を明確に理解していたわけはありませんでした。幸いなことに有能な仲間にも恵まれ、私自身、シーマンシップという勝利以外の価値をセーリングスポーツに見いだすことができました。

## はじめに

2008年度にスタートしたのが



広島を訪れた関一人コーチ

「航海術に優れていること」とあります。航海術は多岐にわたる、それが「セーリングは総合人間力を発揮するスポーツ」といわれる理由です。私がそうであったように、競技スポーツとしてデインギールレースに一喜一憂している間はなかなか実感できないのかもしれない。誰しもが憧れるアメリカズカップでは、最先端の科学技術と知性、究極のセーリング技術と人間離れた体力が要求され、世界一周レースではさらに粘り強い精神力や経験が必要となります。競技力と人間力はスポーツの価値を高めるための両輪です。もっと早くそのことに気づいていれば、もっと自分の人生を俯瞰することができていればと今更ながらに悔やまれるのですが、今、思うことはコーチングの重要性です。

## シーマンシップ

420級とレーザーラジアル級がインターハイ、国体種目として採用され、世界への扉も大きく開かれました。



沖縄・宜野湾での後藤浩紀コーチ

「考えさせること」「教えずに言い語を持つこと」「トライ&エラー」「伝える言葉を持つこと」等々、これまでにアカデミーコーチが発信してきたキーワードは多数あります。それをコーチの視点で集約すると、セーラーの経験値やステージに応じたコーチングが重要だということと考えます。ジュニア期には親やコーチのアドバイスが必要で、技術指導が主体となるのですが、セーリングの場合はその伝え方が難しく、風や潮流といった自然現象にしてもセーラーやヘルムといった感覚にしても、目に見えない事柄を言語化する必要があります。また、技術を習得するための効果的な練習方法を知っておくことも重要です。ジュニア・ユース期に練習のモチベーションとなる目標設定や課題認識をセーラー自身が主体的に考えるように導くには高いコーチ力が必要です。セー

## セーリングは楽しむもの

私は本事業によってアカデミーコーチ役を担う多くのトップ選手とのかかわりを得ることができました。どのコーチも独自の哲学と個性を持っているのですが、共通するのはセーリングが大好きで、人との関係性を大切にすることです。厳しい競争を勝ち抜くために必要な要素であったことだとも思います。コーチによって伝え方はさまざまですが、コーチングの前提にあるのは「セーリングの楽しさ」です。自分自身の反省も踏まえて、アカデミー10年間の歩みの中で、時にジュニア・ユースセーラーたちからも気づかされたことが多々あります。

## セーラーのニーズに応える

## おわりに

2018年度は、愛知県半田市を皮切りに全国12都市で全16回のアカデミー事業を展開し、延べ6000人を超えるジュニア・ユースセーラーとその指導者に参加していただきました。2020東京オリンピックを目前に控える慌ただしい中、私たちの活動に賛同し、魅力的なコーチングを提供していただいたアカデミーコーチの皆さま、アカデミー事業を活用していただく中で貴重なご意見やご協力を賜りました全国の指導者・関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。今後もジュニア・ユースアカデミー委員会として学びを得ながら、何よりセーリングを楽しむを旨とし、より良い活動を提供してまいります。（レポート／中村公俊 ジュニア・ユースアカデミー委員長）

ラーのステージが上がれば上がるほどに技術力に加えて人間力のレベルアップが必要となります。

ある段階からは、技術指導等のティーチングが過ぎると選手の持つ「考える力」や「発想力」を奪ってしまい、結果的に自信を損ないかねません。この段階になるとセーラーからコーチへの要求も高度になり、コーチはティーチングを極力抑える代わりに、セーラーの状態をよく観察し、いつでもセーラーのニーズに応える準備が必要となります。選手が目標を達成するために技術力や体力を向上させようと日々トレーニングに励むのと同様に私たち指導者も情報を更新し、コーチ力を高める努力が求められます。私自身はこのように貴重な学びを得ることができました。

# うねりを、チャンスに。

*From Uncertainty, Opportunity.*

環境変化が激しさを増すなか、

私たちはいま先の見えない不確実性の時代を生きています。

しかし、このうねりは私たちを未来へと突き動かすエネルギーであり、あらゆる場所に創造の機会があふれています。

130年にわたって積み重ねてきた信頼のネットワークと世界で鍛えた海技力。

そして、次世代の切り札となる「環境」と「ICT」への挑戦。

商船三井は、持てる力をひとつにして新たな可能性を切り拓き、世界の発展に貢献できる強くしなやかな存在をめざします。



**MOL** 商船三井

<http://www.mol.co.jp/>



**YAMAHA**  
*Revs Your Heart*

## その先の感動へ。

モータースポーツ、ヨットレース。ヤマハ発動機は国内外の様々なレースに挑戦し、その歴史に名を刻んできました。その根底にあるのはチャレンジスピリット。Revs Your Heart— 心躍る瞬間、そして最高の体験を、YAMAHA と出会う人々に届けます。

**ヤマハ発動機株式会社**

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500 <https://www.yamaha-motor.co.jp>

# NOTICE ノーティス ボード BOARD

## 事務局移転のお知らせ

日本セーリング連盟（JSAF）の事務局が2019年6月20日に移転いたします。

移転先は、現在、建設中の「JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE」6階です。東京2020オリンピックの開会式が行われる新国立競技場に隣接します。

■新住所  
〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 6F  
(ごつきょうご しんじゅくく かすみがおかまち)

■電話番号：現在申請中（確定後にHP、SNSなどで公表いたします）

■最寄り駅  
・東京メトロ銀座線 外苑前駅、3番出口（徒歩6分ほど）  
・JR中央・総武線 千駄ヶ谷駅（徒歩10分ほど）  
・JR中央・総武線 信濃町駅（シ）



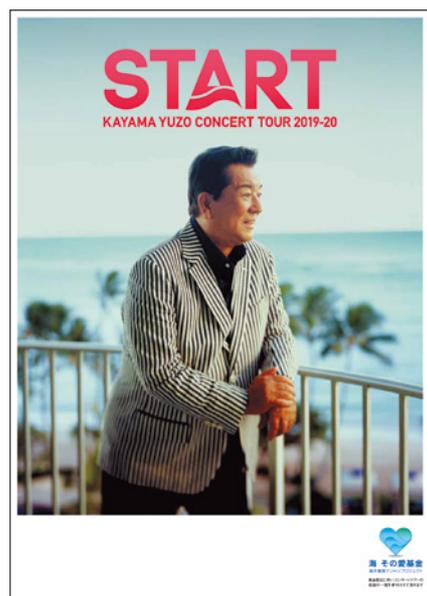
・都営大江戸線 国立競技場駅（シ）

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 1階には「日本オリンピックミュージアム」が開設されます。「日本オリンピックミュージアム」は一般に開放されますが、JSAF事務局などのオフィス階については、セキュリティ等が現在よりも厳しくなります。

フラッパーゲート（駅などに設置されている自動改札機と同様のもの）が設置され、このゲートを通過するには1階の受付で訪問先に事前連絡しているかを確認、訪問理由などを記載した上、身分証を提示し、ゲートを通過するためのカードを入手する必要があります。

JSAF事務局にお越しの際は、必ず事前に連絡してお越しください。

\*連絡なく来られた場合は入館をお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご了承ください。



## 「海その愛基金」海洋環境クリーンプロジェクトについて

JSAFは歌手の加山雄三氏と協力して「海その愛基金」を創設し、海洋環境クリーンプロジェクトを開始することになりました。

加山雄三さんは、地球規模で進む海洋の深刻な汚染に、かねて心を痛めてこられました。そこで、海を愛し、海の恩恵を享受している自身の体験から、今こそ、自身でなすべきこととして、海洋汚染の現実を広くアピールし、次代を担う子どもたちや若者たちと共に海の再生にかかわる活動を始めたいと希望されました。

そのため加山雄三さんとJSAFは基金をつくり、その基金を活用して海洋環境の改善を訴え、また海をきれいにするさまざまな活動を始めることとなりました。

加山雄三さんは全国ツアーを再開されますが、そのツアー会場でも海洋環境の悪化と海の再生の必要性をアピールされ、本基金への募金を呼びかけるという事です。

## 海洋環境クリーンプロジェクト

プロジェクトは①海を再生する、②海を知る、③海を体験する、を柱に、JSAFや加盟団体・特別加盟体が協力して活動を進めます。

本事業のキックオフとして、3月18日には、加山雄三さん

を委員長とする日本セーリング連盟の「海その愛基金 海洋環境クリーンプロジェクト推進委員会」が開催されました。4月から本格的な活動をスタートさせます。

JSAF会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

## 2024年パリ・オリンピックに外洋レースの採用が決定

2018年11月のWorld Sailingの総会で、2024年パリ・オリンピックの新種目として、男女混合2人乗り外洋キールボート（Mixed Two Person Keelboat Offshore）が入ることが決定しました。艇種は未定です。

日本セーリング連盟は2024年オリンピックの外洋レースにチャレンジするために、同じ形式で行われる2019年の外洋世界選手権への選手派遣など、準備を進めます。

参照：World Sailing ホームページ  
<http://www.sailing.org/news/88120.php#XE5dGGeP6UI>



アメリカズカップと同じ方式で、アビームで全艦フォイリングしながら一斉にスタートします

# SailGP スタート!

プロフェッショナルセーリングチャンピオンシップ  
「SailGP」の開幕戦・シドニー大会が  
2月15日、16日、オーストラリア・シドニー湾で開幕しました。

SailGP は、国を代表するセーリングチームが同型艇「F50」(フォイリングカタマラン艇)を用いて世界を転戦する大会です。開幕シーズンの2019年は第1戦のシドニー大会を皮切りに、全5大会が予定されており、最終戦のマルセイユ大会でリーグ優勝チームに賞金100万米ドルが用意されるそうです。

水中翼や硬質ウイングセラーなど、最先端の技術を搭載したフォイリングカタマランF50は、時速100キロにも迫るスピードが特徴です。50フィート艇がフォイリングしながらシドニー湾を飛ぶ姿は美しく、また、フリートレースの迫力、スピード、共鳴音は刺激的でした。セーラーでなくとも興奮すること間違いなしです。

## 【SailGP シドニー大会最終成績】

- 1位: オーストラリアチーム 48点  
(マッチレース優勝)
- 2位: 日本チーム 45点
- 3位: イギリスチーム 36点
- 4位: 中国チーム 33点
- 5位: フランスチーム 33点
- 6位: アメリカチーム 31点

## 【大会スケジュール】(日付は現地時間)

- 第1戦 豪シドニー大会(開幕戦) 2月15～16日
- 第2戦 米サンフランシスコ大会 5月4～5日
- 第3戦 米ニューヨーク大会 6月21～22日
- 第4戦 英カウズ大会 8月10～11日
- 第5戦 仏マルセイユ大会(最終戦) 9月20～22日

開幕シーズンの今年はいギリス、アメリカ、フランス、オーストラリア、中国、そして日本を代表する6チームが出場しています。SailGPは最終的に10チーム、10会場での開催を目指しており、3年目のシーズンまでに日本での開催を模索中のようです。

「Japan SailGP Team」は吉田雄悟、笠谷勇希、高橋レオ選手に3人の外国人セーラーでチームが構成されています。

大会は2日間でフリートレースと上位2チームによるマッチレースが行われました。日本は上位2チームに残り、オーストラリアチームとマッチに挑みましたが、スタートで



F50は5人乗りで日本人クルーのポジションはグラインダーです。シドニー大会では、その日の風の状況によって体重差のある吉田選手と高橋選手は乗り替わっていました。また、ネイサン・アウタリッジ(スキッパー/オリンピック金・銀メダル)、イアン・ジャンセン(ウイングトリマー/オリンピック金・銀メダル)、ルーク・パーキンソン(ボルボオーシャンレース優勝艇クルー)が乗り込みます

先行を許し、残念ながら準優勝に終わりました。

スキッパーのネイサン・アウタリッジが言うように短い準備期間でマッチレースまで残れたことは素晴らしい。次のサンフランシスコ大会に期待できます。

また、早福和彦COO(最高執行責任者)がチームマネジメントを行っています。2年目のシーズンからは参戦国でダイベロップメントプログラムをスタートさせ、学校やヨットクラブを通じて若手セーラーを育成し、プロセーラーへの道筋を与えるような計画もあります。日本にも近々、ベースキャンプができることで、非常に楽しみです。

(写真とレポート/中嶋一成)

# 夢にむかって・・・ セーリングのナショナルチームとユースチームを応援します!

ナショナルチーム・ユースチームの海外遠征の手配、  
障害者スポーツの海外派遣、  
フランスへの個人語学留学の手配、  
業務渡航その他、海外への各種渡航手配を行っております。

株式会社 **グロリア ツアーズ** TEL:03-6826-3434 (代表) <http://www.gloria-tours.jp>

<p><b>病院</b> 北柏リハビリ総合病院(247床)</p> <p><b>クリニック</b> 西浦眼科 まちや外科内科 梅郷整形外科クリニック(13床) 天宣会循環器・睡眠呼吸クリニック</p> <p><b>介護老人保健施設</b> 梅郷ナーシングセンター(124床) 北柏ナーシングケアセンター(120床)</p> <p><b>訪問看護</b> 北柏訪問看護ステーション</p>	<p><b>健診センター</b> 柏健診クリニック 汐留健診クリニック</p> <p><b>居宅介護支援</b> 梅郷ナーシング居宅介護支援事業所 北柏リハビリ総合病院居宅介護支援事業所 居宅介護支援センターみゆき 居宅介護支援事業所 こまぎ安心館 居宅介護支援事業所 かしわ安心館</p> <p><b>介護老人福祉施設</b> みゆきの郷(120床) 流山こまぎ安心館(110床) かしわ安心館(110床)</p>	<p><b>在宅介護・福祉用具</b> エンゼル・サービス柏 (訪問介護・在宅介護支援 ・介護支援ショップぬくぬく)</p> <p><b>研究</b> 日本成人保健医療問題研究所</p> <p><b>柏エンゼルクロス</b> 女子バレーボールチーム(Vリーグ所属)</p>	<p>「感謝な心」で 信頼の医療サービスを ご提供いたします</p> 
<p><b>天宣会グループ</b> 〒277-0021 千葉県柏市中央町1-1 TEL.04-7167-6667 (代表)</p> <p>医療法人社団 天宣会    社会福祉法人 天宣会    株式会社 日本エフピー総合企画</p>			



REACH BEYOND



最速で、未来へ。

**MIZUNO  
TRAINING  
MEN**





毎月  
5日  
発売

日本と世界の海の最新情報

ヨット・モーターボートの雑誌

# Kazi

●A4判 / 208~224ページ ●定価: 本体1,048円+税

<http://www.kazi.co.jp/>

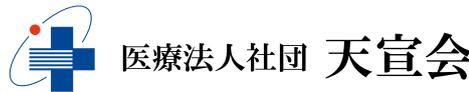
<https://www.facebook.com/kazi1932>

お問い合わせ: 舵社 販売部

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-17 ストックベル浜松町3F

## TEL 03-3434-4531

●全国書店でお買い求めいただくか、弊社販売部まで、ご注文ください。



環境キャンペーン協賛社

2019年JSAF賛助会員



JFE



Benesse



YAMAHA



日建リース工業株式会社



一般社団法人 日本マリナーナビ子協会  
Japan Marina & Beach Association



Performance Sailcraft Japan



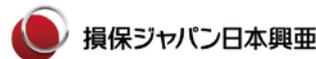
外洋キャンペーン協賛社



TAFCO



Schenker-Seino Co., Ltd.



公益財団法人 日本海事広報協会



J-SAILING No.114

平成31年3月29日発行 通巻468号

発行/公益財団法人日本セーリング連盟広報委員会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

電話 03-3481-2357 ファクス 03-3481-0414

E-MAIL head@jsaf.or.jp

発行人/河野博文 編集人/柳澤康信

エディター/豊崎謙 デザイナー/松岡雅子

定価/300円(JSAF会員は会費に購読料が含まれています)

www.jsaf.or.jp/hp



スバル興業(株)  
東京夢の島マリナーナ





# #DiscoverYourPlanet

 **PROSPEX**



@seiko\_prospex  
FOLLOW US ON INSTAGRAM

世界一透明な泉  
シルフラ アイランド

北米大陸とユーラシア大陸の裂け目が創り出した泉、シルフラ。視界100メートルの静謐な青の世界が広がる。未知への挑戦と探求をやめないその情熱に。

# SEIKO

SINCE 1881

セイコープロスペックス SBDC061 110,000円+税 自動巻  
0120-061-012(9:30~17:30、土日祝日を除く) [www.seikowatches.com](http://www.seikowatches.com)

セイコーウォッチ株式会社



いつでもおいしい  
ルヴァンプライム。

サクサク感アップ！  
さらにおいしくなりました。



ヤマザキビスケット